

国際広報メディア・観光学専攻

国際広報メディア研究コース

平成31年度
前期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25字×40行=1000字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 選択した問題番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
7. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
8. 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
9. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～3 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語（横書き）で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空気を含めて計算する。

【問題 1】

「子ども食堂」は、無料または安価な食事を提供し、子どもが一人でも安心して利用できる場所として、現在日本各地に広まっている。民間発のこの取り組みは、一般の人々の柔軟な運営に支えられている一方で、人や財源などの資源確保の問題や、食品衛生の管理などの課題もかかえている。このような取り組みを継続・発展させていく上で、民と公（地方自治体）の役割分担はどのようなものであることが望ましいだろうか。具体例を交えて、根拠をあげながら論じなさい。

【問題 2】

エジソンの蓄音機は、音楽を録音・再生する機器としては最高水準にまで達した技術の一つであった。だが、最終的には「原理的に音質が劣る」とされていた円盤型のレコードに取って代わられた。このように「技術的に優れているもの」が必ずしも広く受け入れられるとは限らない理由を論じなさい。

【問題 3】

観光地や観光商品などのマーケティング活動を、電子メディアを駆使して行う「観光デジタルマーケティング」の有効性について論じなさい。